

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	流通経済大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	リュウツウケイザイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(準備)
	学部・研究科等名	全学部(経済・社会・流通情報・法・スポーツ健康科)
	担当教職員名・役職	中野浩一・社会学部講師
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	9
	受入企業等数	8
	受入企業等名	(株)アクセスヒューマネクスト、清水建設(株)、日通不動産(株)、日通旅行(株)、茨城県庁、石岡市役所、東海村役場、墨田区役所
	インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	民間企業や地方公共団体で、5～10日間、実務またはそれに準ずるものを体験するものです。事後研修として提出する報告書は、インターンシップ研修報告書という冊子となります。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		インターンシップの事前教育として位置付けられているものです。「実際にインターンシップに参加すること」を最終目標として、近年のインターンシップの現状を俯瞰し、自己分析や業界研究を通じたインターンシップ先を選び、履歴書や関連書類の具体的な書き方の演習、ビジネスマナーの講習などを行っていきます。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	「実際にインターンシップに参加すること」を最終目標として、自己分析や企業研究を通じてインターンシップ先を選定し、履歴書や関連書類の具体的な書き方の演習、ビジネスマナーの講習などを行っています。また、インターンシップに参加する学生とは別途個別に面談を行い、インターンシップ参加にあたっての注意点や目標の確認も行っていきます。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップに参加した学生全員に対して、実習報告書の提出ならびに振り返りの面談を通じてインターンシップの成果の振り返りや今後の学生生活の過ごし方について学生に確認させています。また、「インターンシップ(報告)」という科目でこの振り返りをより深掘りして行うことも可能です。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習報告書(記載項目は「実習を通じて学んだこと」「実習の反省」「今後の学生生活にどう活かすのか」)により定性的に把握するとともに、梅崎・田澤(2013)が開発した「キャリア・アクション・ビジョン・テスト」により学生のキャリア意識の変化をインターンシップの成果指標として定量的にも把握しています。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5~10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年次夏季休業期間中(8月、9月)を原則として連続5日間以上の実習を行っています。実習内容に応じて、学生は単一の部署または複数の部署を経験しています。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業には実習後10日以内に「インターンシップ実習生評価書」をご提出いただいています。規律性、積極性、実務遂行能力に関する評価に加えて、自由記述形式で学生に対するコメントも求めています。この評価書はインターンシップ後に行う振り返り面談の中で参加学生に対してフィードバックしています。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://ring.rku.ac.jp/campusweb/campussquare.do_flowExecutionKey=c11f357e5-d091-1670-136f-1143c03bfa51_k181471d9-d34d-d65a-5ba9-826b9dbba50f
問い合わせ先	大学等名	流通経済大学
	担当部署名	就職支援センター
	担当者役職名	課長補佐・役職なし
	担当者氏名	篠原正行・水田亮介
	電話番号	0297-60-1158
	メールアドレス	shinohara@rku.ac.jp